

自宅から使えるデータベースの紹介（リンク利用編）

2024.7 現在

インターネット上には、誰もが無料で閲覧可能（オープンアクセス）なデータベースがあります。

学術論文、電子ブック、法令などが、いつでも・どこからでも閲覧可能です。

ここでは、図書館ホームページのリンクから利用できるオープンアクセスのデータベースの一部を紹介します。

■リンクから利用できるデータベース

こちらで紹介するデータベースは、各データベースのリンクから利用できます。以下の方法で利用してください。

図書館HP



図書館HP内、“自宅から使えるデータベース”の横の+マークをクリックし、下に出てくる“自宅から使えるデータベース一覧”をクリック



または、“自宅から使えるデータベース”のバナーをクリック

画面中央、“リンクから利用”のプルダウンからアクセスできます。目的のデータベースのリンクをクリックして利用してください

リンクから利用

データベース名をクリックして利用してください。
リンクから使えるデータベースの紹介資料は[こちら](#)

データベース名	言語	内容
Cinii Research	日本語	日本の学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報
J-STAGE	日本語	日本の機関が発行した、ジャーナルや会議録等の刊行物
IRDB	日本語	日本の学術機関リポジトリに登録された論文等
国立国会図書館 電子コレクション	日本語	国立国会図書館が公開している電子資料 ※ 国立国会図書館/図書館送信限定マークのある資料は 図書館送信不可
国立公文書館 アジア歴史資料センター	日本語	国立公文書館が所蔵するアジアに関する公文書等
宇宙航空文献情報 公開システム	日本語	日本の宇宙航空関連機関の学術文献
HathiTrust Digital Library	英語	アメリカの大学図書館が公開している電子資料
British Library	英語	イギリス国立図書館が所蔵する資料の所蔵情報
UN Comtrade	英語	国際貿易統計と関連する分析テーブル
IMF Data	英語	IMF（国際通貨基金）が提供する経済、財務データ情報

CiNii Research (国内論文)

国立情報学研究所 (NII) が提供する学術情報検索サービス。
国内論文、博士論文、大学等研究機関所蔵情報、機関リポジトリ等の研究データなどを横断的に検索することができます。

The screenshot shows the CiNii Research search page. At the top, there are navigation links: "論文・データをさがす", "大学図書館の本をさがす" (highlighted with a red box), and "日本の博士論文をさがす". The main search area includes a "フリーワード" search box and a "検索" button. Below the search box are fields for "タイトル", "人物/団体名", "ISSN", "DOI", and "期間". There are also checkboxes for "本文リンク" and "本文リンクあり". A yellow callout bubble points to the search box with the text: "キーワードを入力して検索できます". Another red callout bubble points to the "大学図書館の本をさがす" link with the text: "ここをクリックすると、国内の大学図書館等が所蔵する本を検索できる「CiNii Books」に切り替えることができます。". A third yellow callout bubble points to the "本文リンクあり" checkbox with the text: "「本文リンクあり」をチェックすると本文が読める論文のみ(※)を検索できます。".

(※) 一部、ユーザー登録や学会への入会が必要な論文あり

▲ CiNii Researchより▶

The screenshot shows a research article page titled "食教育を活用したESD 研修プログラム～持続可能な人材育成と食教育～". A red box highlights the "機関リポジトリ" link. A yellow callout bubble points to this link with the text: "「機関リポジトリ」をクリックすると掲載サイトに移動することができます。無料で論文を閲覧可能！". Below the article title, there are author names: 小金澤, 孝昭, 鎌田, 広朗, 岡, 正明, 氏家, 幸子, 小野寺, 勝徳. The page also includes a "抄録" section and a "収録刊行物" section listing "宮城教育大学紀要 = Bulletin of Miyagi University of Education".

その他、国内論文検索サービス



J-STAGE

日本の機関が発行した、ジャーナルや会議録等の刊行物を無料で検索・閲覧(※)できます。工学、生物学、人文・社会科学などの幅広い分野のコンテンツを掲載しています。

(※) 一部、ユーザー登録や学会への入会が必要な論文あり

▲J-STAGEより

IRDB

日本の学術機関リポジトリに登録された学術情報（学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等）を無料で検索・閲覧できます。

IRDBより▶



国立国会図書館デジタルコレクション (国会図書館所蔵デジタル資料)

国立国会図書館が収集・保存しているデジタル資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を検索・閲覧できます。

※ 「送信サービスで閲覧可能」と書かれた資料は図書館内でしか利用できません。

利用希望の際は図書館カウンターまでお問い合わせください。



▲国立国会図書館デジタルコレクションより

国立国会図書館サーチ

国立国会図書館の所蔵を検索するにはこちら。その他、日本の各図書館が所蔵する資料の所蔵情報を検索できるサービスです。



リンクから利用できる学修に役立つデータベースの一部を紹介します。

カーリル	<p><u>日本の公共図書館が所蔵する資料の所蔵情報を検索できます。</u> 図書館名や都道府県名で、目的の資料を所蔵している図書館を検索することができます。 位置情報をONにすれば、現在地に近い図書館の所蔵も調べられます。希望する資料が大学にない時や、近くの図書館で資料を集めたい時に便利です！</p>
イーガブ e-Gov	<p>総務省行政管理局が運営する総合的な行政情報ポータルサイトです。「e-Gov法令検索」から、<u>現行の法令を検索することができます。</u> また、日本の法令の外国語訳版や条約、パブリックコメント、行政文書を検索・閲覧することができます。</p>
国立公文書館 アジア歴史資料 センター	<p>国立公文書館が運営する<u>アジア歴史資料</u>（アジア近隣諸国等との関係に関わる公文書及びその他の記録）を検索・閲覧できるサービスです。</p>
ハーティトラスト HathiTrust デジタルライブラリー Digital Library	<p>米国の大学図書館等が協同で運営しているデジタルアーカイブです。 <u>米国大学図書館の図書や雑誌、連邦政府文書等、1千万点以上のコンテンツを閲覧</u>できます。</p>
OECD iLibrary	<p>OECD（経済協力開発機構）が発行するレポート、ジャーナル、 また加盟各国と主要な非加盟諸国から集められた統計資料を検索・閲覧できるサービスです。</p>

